

自社新築ビルの『ZEB』仕様化 お取り組み事例



JESCO AKUZAWA本社ビル



太陽光発電システム

グループの災害拠点ともなる
新社屋を『ZEB』で建て替え。

JESCO AKUZAWA株式会社 様 [群馬県高崎市]

空撮した動画は
こちら



JESCO AKUZAWA株式会社
代表取締役社長 執行役員社長
中崎 克文 様

JESCO AKUZAWA株式会社様は、100年を超える歴史を持つ阿久澤電機株式会社様がJESCOホールディングスに加わり、誕生した電気設備工事会社です。パナソニックをZEBプランナーとして、一次エネルギー削減率約62%、創エネを含む106%を達成した『ZEB』の新社屋を新築。ZEBに必要な電気設備から空調設備にいたるまで、オールパナソニックでご採用いただきました。

築58年の本社ビルが老朽化 「建て替えるならZEB」

JESCO AKUZAWA株式会社様の前身は、1919年に群馬県高崎市で創業された阿久澤電機株式会社様です。地域の電気・通信工事会社として100年以上にわたり、官公庁や民間企業の工事を手掛けてこられました。海外にも拠点をもち、設計や積算、図面作成をベトナムで行うなど、オフショアにも取り組まれる先進的な企業です。

2022年10月よりJESCOグループの一員となり、2023年4月に阿久澤電機株式会社からJESCO AKUZAWA株式会社に社名を変更されました。

ほどなく、築58年の本社ビルの建て替えの話が浮上したと、代表取締役社長の中崎様は振り返られます。

「JESCOグループはカーボンニュートラルに積極的に取り組んでいるため、建て替えるのであればZEBにしたいと考えました。また、「災害に強い」といわれる群馬県の特性を生かし、有事の際には新社屋をJESCOホー

ルディングスの災害拠点とすることを想定し、停電時も自立運転できる蓄電システムなどを採用しました。」

災害発生時にグループ会社社員および協力会社へ配給するための食料品などを備蓄する倉庫を1階に設置。停電が起こると基本的にエレベーターは使えなくなるため、BCP対策として3階建てエレベーターのない建物にされました。「レイアウト変更が何度もあったのですが、そのたびにパナソニックに設計変更などに対応してもらい、大変助かりました」と中崎様は話されます。

トータルで支援を受けられる パナソニックをパートナーとして選択

ZEB化にあたり、中崎様はパナソニック京都ビルをご見学してようやく新社屋のZEB化が具体的に描けるようになったそうです。「ZEBについて調べる中、書類を見てもどうもピンとこなかったのが、パナソニック京都ビルを見学し、実際に設備を見て初めて、「こうすれば当社もZEBにできる」という具体的なイメージが湧きました」。

納入された主な設備



太陽光発電システム



キュービクル



リチウムイオン蓄電システム



パワーコンディショナ



パワーステーション



コンバーター



LEDベースライト・パッケージエアコン室内機



LEDダウンライト



階段通路誘導灯



電灯分電盤



エマネージ



熱交換気システム



太陽光発電モニター



有圧換気扇



自動火災報知設備



ON/OFF集中コントローラー

同社が採用された電気設備・空調設備はすべてパナソニック製品です。「ZEB化に必要な設備がすべて揃っているのはパナソニックだけですし、他社は考えられませんでした」と中崎様はおっしゃいます。パナソニック製品をトータルで採用することによる総合的な支援に加えて、ZEBプランナーも依頼できることが大きなポイントでした。「ZEB化のキープポイントは設計です。当社は『ZEB』を目指していたので、それを実現するコンサルティングを提供してもらえることが重要でした。当社も設備工事会社なのでよくわかりますが、施工は図面さえあれば、通常どおりにできます。ですがZEB設計は簡単ではありません。変更が入るたびに計算し直す必要があり、それにはメーカーが持っている数値が必要で、タイムリーに対応するのはやはりメーカーならではのようです」。

一方、苦労されたのは補助金獲得のために工期が短くなったことでした。単年度で工事を終わらせるには、工期は半年程度しかなく、タイトなスケジュールでした。

「延べ床面積は1152㎡という規模感のため、単年度工事が可能でした。複数年度にまたがると補助金の申請作業が非常に複雑になるため、単年度で達成できて本当によかったです」。

完成した新社屋は今後、ショールームとしても活用される計画で、ZEB化を目指す施主様・建築会社様などの見学にも対応されています。「ZEBとはどのようなものか、当社のような電気工事会社ですら当初はよくわからなかったもので、異業種の企業様の場合にはもっとわかりづらいと思います。当社の新社屋を見ていただければ要点をつかめますし、電気料金の削減効果など具体的なランニングコストをご提示することができます。さらに言えば、投資額も含めて公開できますので、ZEBを検討される企業様も投資を決めやすいのではないのでしょうか。高崎エリアには『ZEB』はまだ他にないため、地域の企業様に貢献できることが多いと考えています。また、パナソニックにはZEB案件をはじめとして今後ともお世話になりたいと思っています」とお話しくださいました。



左: JESCO AKUZAWA 中崎様、右: 高崎電材営業所 菊地